

## わたしたちが配慮できること

ご家庭や学校など身近な場所で、発達障がいのある子どもに接する時の基本的なポイントをいくつかご紹介します。



### ① できたことをほめる／できないことを叱らない

努力している点やうまく行っている点を具体的にほめましょう。できないことを叱り続けるよりも効果的です。

### ② 視覚的な情報を提示して説明する

話しことばで伝えるよりも、目で見て分かる情報のほうが理解しやすい子どもがいます。写真や絵などを使うと理解しやすくなります。

### ③ 説明や指示は短い文で、順を追って、具体的に

言葉で説明するときは、短い文で、一つずつ、順を追って、具体的に伝えましょう。

### ④ 安心できる環境を整える

人混みや大きな音、光などの刺激を苦手とする子どもがいます。そのような刺激による不快感を大きくしないよう、安心できる環境をつくってあげましょう。

### ⑤ 善悪やルールとともに、どうすればよいかを具体的に教える

してはいけないことや迷惑なことははっきり教えましょう。具体的にどのようにしたらよいかを伝えましょう。

### ⑥ 発達障がいの子どもの温かく見守る

少しの時間待つことで比較的早く混乱から抜け出せることがあります。叱られることで逆により混乱してしまうことも多いようです。

わたしたちが少し配慮して支えることで、子どもたちはもちろん、周囲のおとも、ともに安心して生活しやすくなります。

